



安全データシート
Insulcure 26 PT B

項目1：化学品及び会社情報

1.1. 製品特定名

製品名 Insulcure 26 PT B

1.2. 化学品の推奨用途及び使用上の制限

特定された用途 Casting compound

1.3. 安全データシートの供給者の詳細

供給者

ITW Performance Polymers
Bay 150
Shannon Industrial Estate
Co. Clare
Ireland
V14 DF82
353(61)771500
353(61)471285
mail@itwpp.com

1.4. 緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 +44(0)1235 239 670 (24h)

項目2：危険有害性の要約

2.1. 化学物質又は混合物の区別

物理化学的危険性 区分外

健康有害性 急性毒性 区分4 - H302 急性毒性 区分4 - H312 皮膚腐食性 区分1B - H314 眼に対する重篤な損傷性 区分1 - H318 皮膚感作性 区分1 - H317

環境有害性 水生環境有害性、慢性毒性 区分2 - H411

2.2. ラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

H302+H312 飲み込んだり、皮膚に接触すると有毒。
H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

Insulcure 26 PT B

注意書き

P261 蒸気 / スプレーの吸入を避けること。
 P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
 P280 保護手袋 / 保護衣 / 保護眼鏡 / 保護面を着用すること。
 P303+P361+P353 皮膚 (又は髪) に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。
 皮膚を流水 / シャワーで洗うこと。
 P305+P351+P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズ
 を着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 P312 気分が悪い時は医師に連絡すること。

含有物

FATTY ACIDS, TALL-OIL, REACTION PRODUCTS WITH TETRAETHYLENEPENTAMINE,
 3,6,9-TRIAZUNDECAMETHYLENEDIAMINE

項目3: 組成及び成分情報

3.2. 混合物

FATTY ACIDS, TALL-OIL, REACTION PRODUCTS WITH TETRAETHYLENEPENTAMINE CAS番号: 68953-36-6	60-100%
分類 皮膚腐食性 区分1B - H314 眼に対する重篤な損傷性 区分1 - H318 皮膚感作性 区分1 - H317 水生環境有害性、慢性毒性 区分2 - H411	
3,6,9-TRIAZUNDECAMETHYLENEDIAMINE CAS番号: 112-57-2	5-10%
分類 急性毒性 区分4 - H312 皮膚腐食性 区分1B - H314 皮膚感作性 区分1 - H317 水生環境有害性、慢性毒性 区分2 - H411	

全ての危険有害性情報の全文は項目16に示されている。

項目4: 応急措置

4.1. 応急措置の説明

吸入	被災者を汚染源から移動させること。被災者を空気の新鮮な場所に移して暖かく保ちながら呼吸しやすい姿勢で休息させること。何らかの不快感が続く場合には医師の手当てを受けること。
経口摂取	直ちに医師の手当てを受けること。無理に吐かせないこと。口をすすぐこと。
皮膚接触	直ちに汚染された衣類を取り除き皮膚を石鹸と水で洗うこと。少なくとも15分間洗い続けること。洗った後も刺激が続く場合には医師の手当てを受けること。化学熱傷は医師が治療する必要がある。
眼接触	直ちに眼を洗わないと永久的な損傷を引き起こすおそれがある。少なくとも15分間洗い続けた後に医師の手当てを受けること。直ちに医師の手当てを受けること。

4.2. 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

一般情報 記載されている症状の重症度は濃度および暴露の長さに依存して変化する。

Insulcure 26 PT B

経口摂取	この製品は腐食性である。飲み込むと有害。口、食道および胃の化学熱傷を引き起こすおそれがある。重篤な内部損傷を引き起こすおそれがある。
皮膚接触	皮膚および眼に対して腐食性。火傷を引き起こす。アレルギー性発疹。
眼接触	この製品は腐食性である。高濃度の化学物質に接触すると非常に急速に重篤な眼の損傷を引き起こし、ことによると失明するおそれがある。

項目5：火災時の措置

5.1. 消火剤

適切な消火剤 二酸化炭素または粉末消火剤で消火すること。水スプレーを使用して熱にさらされた容器を冷却すると共にリスクを伴わずに対処可能ならそれらの容器を火災区域から移動させること。

使ってはならない消火剤 火災を広げるので棒状水を消火剤として使用しないこと。

5.2. 化学品から生じる特定の危険有害性

有害燃焼副産物 炭素酸化物。熱劣化または燃焼により、酸化炭素及び他の毒性ガスまたは蒸気を放出することがある。

5.3. 消火を行う者の保護

消火活動中の保護措置 風上に向かいヒュームを避ける。封じ込めにより流去水を管理して下水道および水路に流入させないようにすること。

消火を行う者を保護するための特別な保護具 陽圧自給式呼吸器 (SCBA) および適切な保護衣を着用すること。

項目6：漏出時の措置

6.1. 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

人体に対する注意事項 この安全データシートのセクション8に記載の防護衣を着用すること。換気が不十分な場合は適切な呼吸用保護具を使用すること。蒸気の吸入および皮膚ならびに眼との接触を避けること。漏洩した場合は、床及び表面が滑りやすくなるので注意する。

6.2. 環境に対する注意事項

環境に対する注意事項 あらゆる環境汚染の発生を防止または最小限に抑えること。

6.3. 封じ込め及び浄化の方法及び機材

浄化方法 適切に換気すること。砂、土またはその他の適切な不燃材料で流出を封じ込めること。流出物または流去水が排水管、下水道または水路に入るのを防止すること。不燃性、吸収性の材料に流出物を吸収させること。回収し適切な廃棄物用容器に入れて確実に密封すること。廃棄物および汚染された物質の入った容器にラベルをつけてできるだけ早くその区域から移すこと。汚染された区域を多量の水で洗い流すこと。回収した流出物を入れた容器には必ず正確な内容物と危険有害性シンボルを標示しなければならない。

6.4. 他の項目の参照

他の項目の参照 個人保護具については、セクション8を参照。廃棄物処理に関してはポイント 13 を参照。

項目7：取扱い及び保管上の注意

7.1. 安全な取扱いのための予防措置

使用上の予防措置 優良個人衛生手順を実行しなければならない。仕事場を離れる前に手と他の汚染された身体の部位を石鹸と水で洗うこと。優良個人衛生手順を実行しなければならない。適切に換気すること。

7.2. 混触禁止物質を含む、安全な保管条件

Insulcure 26 PT B

保管上の予防措置 密閉した、元の容器に入れて乾燥した、涼しくて換気の良い場所に保管すること。熱、火花および裸火から遠ざけること。混触危険物質（セクション10を参照）から遠ざけて保管すること。

7.3. 特定最終用途

特定最終用途 この製品の意図された使用はセクション1で詳しく述べられている。

項目8：ばく露防止及び保護措置

8.2. ばく露防止

保護具



適切な設備対策 適切な全体換気装置および局所排気装置を設けること。製品または成分の職業暴露限界値がある場合にはこれを遵守すること。

眼 / 顔面の保護 次の保護具を着用しなければならない：化学物質飛沫ゴーグル。眼および顔面を適切に保護する個人用保護具を着用しなければならない。

手の保護 リスク評価により皮膚接触の可能性が指摘された場合には承認された規格に適合した耐薬品性の、不浸透性手袋を着用しなければならない。手袋の材料の破過時間に関する情報を提供することができる手袋供給業者/製造業者と協議して、最も適切な手袋を選択しなければならない。選択される手袋は少なくとも8時間の破過時間を有していなければならない。手を化学物質から保護するために、化学物質に対する不浸透性および分解耐性が証明されている手袋を着用しなければならない。

その他の皮膚及び身体の保護 接触する場合にはエプロンまたは防護衣を着用すること。

衛生措置 洗眼ステーションおよび安全シャワーを設けること。直ちに濡れたり汚染されたりした全ての衣類を脱ぐこと。皮膚が汚染された場合には直ちに石鹸と水で洗うこと。各作業シフトの終了後および飲食、喫煙およびトイレの使用前に洗うこと。

呼吸器の保護 換気が不十分な場合には、適切な呼吸用保護具を必ず着用すること。呼吸マスクの選択は必ず暴露レベル、製品の危険有害性および選択した呼吸マスクの安全作業限界に基づいて行わなければならない。呼吸マスクが顔面に密着することおよびフィルタが定期的に交換されていることを点検すること。次のカートリッジを装着した呼吸マスクを着用すること：有機蒸気フィルタ。ガスフィルタ、タイプA2。意図した使用に適した交換可能な吸収缶を装備したハーフマスク式およびクォータマスク式の呼吸用保護具を使用しなければならない。

項目9：物理的及び化学的性質

9.1. 物理的及び化学的性質に関する情報

外観	液体。
色	琥珀色。
初留点及び沸騰範囲	>160°C @
引火点	232.2°C
蒸気圧	<1 mm Hg @ °C
相対密度	0.94
分配係数	log Kow: 1.503 3,6,9-triazaundecamethylenediamine

項目10：安定性及び反応性

Insulcure 26 PT B

反応性	次の物質は製品と反応するおそれがある：酸化性物質。
安定性	標準周囲温度および推奨条件で使用した場合は安定。
危険有害性反応危険性	危険有害性反応の可能性は知られていない。
避けるべき条件	熱を避けること。
混触危険物質	フェノール、クレゾール。過酸化物。
危険有害な分解生成物	炭素酸化物。熱劣化または燃焼により、酸化炭素及び他の毒性ガスまたは蒸気を放出することがある。

項目11：有害性情報

11.1. 有害性情報

急性毒性 - 経口

急性経口毒性推定値
(ATE) (mg/kg) 500.0

急性毒性 - 経皮

急性経皮毒性推定値
(ATE) (mg/kg) 1,100.0

吸入

蒸気は喉/呼吸器系を刺激するおそれがある。過剰暴露に続いて生じる症状には以下が含まれる場合がある：咳。長期にわたる高濃度の吸入は呼吸器系に損傷を与えるおそれがある。

経口摂取

高濃度の化学物質を飲み込むと重篤な内部損傷を引き起こすおそれがある。口、食道および胃の化学熱傷を引き起こすおそれがある。

皮膚接触

敏感な個人に感作またはアレルギー性反応を引き起こすおそれがある。この製品は腐食性である。重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。皮膚に接触すると有害である。

眼接触

眼に重度の障害を与えるリスクがある。視力障害および重篤な眼損傷を引き起こすおそれがある。

進入経路

吸入 摂取。皮膚および/または眼との接触

標的臓器

眼 皮膚 呼吸器系、肺

医学的に考慮すべき事柄

敏感な個人は皮膚感作またはアレルギー性反応を引き起こすおそれがある。

項目12：環境影響情報

生態毒性

長期継続的影響によって水生生物に有害。

毒性

Not determined.

12.2. 残留性・分解性

残留性・分解性

データなし。

12.3. 生体蓄積性

生体蓄積性

生体蓄積性について利用可能なデータ無し。

分配係数

log Kow: 1.503 3,6,9-triazaundecamethylenediamine

12.4. 土壤中の移動性

移動性

決定されていない。

Insulcure 26 PT B

12.6. 他の有害影響

他の有害影響 決定されていない。

項目13：廃棄上の注意

13.1. 廃棄上の注意

一般情報	廃棄物を取り扱う際には、製品の取り扱いに適用される安全措置を考慮しなければならない。廃棄物は危険有害性廃棄物に分類される。現地の廃棄物管理当局の規定に従い認可された廃棄物廃棄物投棄地点に廃棄物を廃棄すること。残渣および空の容器は現地および国の規定による危険有害性廃棄物として処理しなければならない。
廃棄方法	現地の廃棄物管理当局の規定に従い認可された廃棄物廃棄物投棄地点に廃棄物を廃棄すること。
廃棄物クラス	08 04 99

項目14：輸送上の注意

14.1. 国連番号

国連番号 (道路輸送/鉄道輸送) 3066

国連番号 (IMDG) 3066

国連番号 (ICAO) 3066

14.2. 品名 (国連輸送名)

品名 (国連輸送名) (道路輸送/鉄道輸送) PAINT

品名 (国連輸送名) (IMDG) PAINT

品名 (国連輸送名) (ICAO) PAINT

14.3. 国連分類 (輸送における危険有害性クラス)

道路輸送/鉄道輸送クラス 8

道路輸送/鉄道輸送分類コード C9

道路輸送/鉄道輸送ラベル 8

IMDGクラス 8

ICAOクラス / 区分 8

輸送ラベル



14.4. 容器等級

道路輸送/鉄道輸送容器等級 III

IMDG容器等級 III

ICAO容器等級 III

14.5. 海洋汚染物質

Insulcure 26 PT B

環境有害物質 / 海洋汚染物質



14.6. 使用者のための特別予防措置

非常措置指針 (EmS) F-A, S-B

危険物識別番号 (道路輸送/鉄道輸送) 80

項目 15 : 適用法令

項目 16 : その他の情報

改訂日付 2018/04/04

改訂版 2

破棄日付 2016/04/29

SDS番号 20693

危険有害性情報の全文

H302 飲み込むと有害。
 H312 皮膚に接触すると有害。
 H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。
 H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
 H318 重篤な眼の損傷。
 H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

この情報は明示されている特定の物質のみに関連するものでありこの物質を他の何らかの物質と併用したり何らかのプロセスに使用した場合には有効でない場合があります。上記の情報は、弊社の知識および確信のおよぶ限り、標示されている日付の時点において正確かつ信頼性の高い情報です。しかしながら、その精度、信頼性または完全性に関して一切の保証、補償あるいは表明を行うものではありません。各自の特定用途に対する上記情報の適合性に関して確認を行うことは使用者の責務です。